

2020年度

学校関係者評価委員会議事録

1. 開催日時： 2021年 2月25日（木）
2. 開催場所： 三草会札幌看護専門学校 会議室

※本年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、書面をもって報告することとした。

3. 委員： 学校法人 西野学園 理事長
社会医療法人 恵佑会札幌病院 副院長兼統括看護部長
札幌市東区親和第一町内会 会長
株式会社 北央情報サービス 監査役
公益財団法人 北海道高等学校奨学会 監事

学 校： 校長
副校長
事務長（文責）

4. 報告内容： 自己点検・自己評価表を配布し、内容についてご意見及び今後の課題、改善策のご助言を頂き、学校運営に反映させる。
新型コロナウイルスの影響により、対面授業からリモート授業へ切替えた。学習支援が必要な学生には個別指導を強化する。
コロナ禍では、学習時間の確保と充実が課題であり、リモート授業では学習習慣が身につけていない学生にとっては、学習の習得も難しい。計画的に学習に取り組める工夫や学習指導を行っていく。
実習についても臨地実習がほとんど行えず、学内実習に切替え。学生は制限された環境下で、互いを思いやり、人との関係を構築することを大切にし、努力しているのを窺えた。
感染状況は次年度も同様の状況にあると考える。感染防止対策と学習を両立させられるよう環境を整え、看護専門職としての健康教育、感染防止教育が行えるよう取り組む必要がある。

学校関係者評価委員会 自己点検・自己評価報告

項目	平均評価		今後の課題・改善
	2019年	2020年	
<ul style="list-style-type: none"> ・教育理念 ・教育目的 ・教育目標 	4.00	3.86	<p>教育の結果をどのように評価するか、カリキュラム評価に具体的な方法を示し計画立案していく。</p> <p>新型コロナウイルスの影響もあり今後は、看護師の役割、人材の需要が高まると考えられる。社会の変化に対応できる看護の実践と育成を強化していくことも必要である。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・教育課程経営 	3.84	3.75	<p>教育課程を評価する体系の整備の必要性。</p> <p>「授業準備のための時間をとれる体制を整えているか」の評価では「あまり思わない」の回答がある。現状を把握し教員が授業準備のための時間の確保に向けていく。</p> <p>実習指導教員を臨地実習での指導に限らず学内実習・演習の企画にいい、専任教員と共同させ教育を検討。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・教授 ・学習（講義・演習・実習） ・評価課程 	3.86	3.77	<p>2022年度のカリキュラム改正に向けて3年間の教授・学習・評価を課題の抽出・改善策を明確にしてカリキュラムに反映していく。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・経営 ・管理課程 	3.69	3.71	<p>カリキュラム評価の準備・企画・運行を計画的に進める。</p> <p>広報活動及び入学試験に関する検討。</p> <p>学生生活の支援と教材教具の点検と補充。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・入学 ・入学 ・就職 ・進学 	3.82	3.61	<p>卒業時の到達状況及び就職進学状況を分析していく。</p> <p>入学者の選抜の考え方と教育理念・教育目的との一貫性、選抜の公平性、選抜方法の妥当性、受験者増への取組みを工夫する。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・研究 	3.49	2.69	<p>校内研修委員係を組織に位置付け授業研究、模擬授業、授業評価、事例検討会、学会報告会の年間計画を立案し教員全員が実施し継続している。</p> <p>実践からの評価と課題を見出し今後の教育活動に活かしていきたい。</p>